

平成28年5月25日	資料3
第30回レセプト情報等の 提供に関する有識者会議	

レセプト情報等の民間提供について

平成28年5月25日

厚生労働省保険局医療介護連携政策課
保険システム高度化推進室

民間提供の議論のまとめ

1. 「レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ」設置に至るまで

- ・「日本再興戦略（平成25年6月）」、「社会保障制度改革国民会議 報告書（平成25年8月）」等において、レセプト情報等の利活用促進についての方策が検討された。
- ・有識者会議において、民間提供に関する具体的な議論が継続して行われ、ワーキンググループを設置し、専門的な検討を行うこととなった。

2. 「レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ」での議論（平成26年10月－平成27年3月）

- ・6件の個別民間模擬申出を検討した結果、2件の申出につき集計・結果の公表を行うこととした。また、民間企業等のニーズに応えるには、**汎用性が高く様々なニーズに一定程度応えうる基礎的な集計表を作成し、公表していくことがむしろ適当である**、との報告がされた。

3. 現時点での作業：模擬申出の集計結果の公表

- ・承諾された個別民間模擬申出のうち「日本医療機器テクノロジー協会」の抽出結果は公表済
(平成28年5月17日)
- ・「日本製薬工業協会」については、本集計・公表の準備を進めている（平成28年5月現在）

4. 今後：「NDBオープンデータ」により提供を実現

- ・個別の申出に代わり「NDBオープンデータ」の作成過程で、民間企業等からの提案も受け付け、有識者会議で審査・検討を行い、抽出・集計が可能な項目について公開する（予定）

レセプト有識者WGにおける個別の民間模擬申出の検討結果

NO	申出者所属	分析・研究の名称	WGにおける検討	今後の対応
1	日本製薬工業協会	医薬品の市販後安全性評価並びに臨床開発におけるナショナルデータベース集計表の有用性の検討	サーバーシステムを約2ヶ月間専有する負荷がかかると推計。一般名毎の集計の妥当性やIDによる患者数集計への留意点。	抽出薬剤の選定中
2	一般社団法人 日本医療機器 テクノロジー 協会	医療機器の保険適用希望書記載精緻化と安定供給確保におけるNDB集計表の利活用の検討	特定器材コードの定義修正。テスト集計表の加工方法について。	公表済
3	公益社団法人 スポーツ健康 産業団体連合 会	運動・身体活動状況と肥満、医療費および主要疾病の発生状況に関する分析	求められている集計表で、因果関係や影響を明らかにする事は難しい。	本申出も参考に、一定のニーズが予想される基礎的集計表についての検討をすべき。
4	富士フイルム 株式会社 R&D統括本 部 技術戦略 部	企業・健保の医療費の抑制に向けた健康増進策と重症化予防策の立案、マクロ調査による傾向把握と自社の各データと突合による生活指導等	求められている集計表で、因果関係や影響を明らかにする事は難しい。	本申出も参考に、一定のニーズが予想される基礎的集計表についての検討をすべき。
5	公益財団法人 ライオン歯科 衛生研究所	歯科・医科レセプトのビックデータを活用した口腔疾患と全身疾患の関連性についての疾患・医療費の分析	求められている集計表で、因果関係や影響を明らかにする事は難しい。	本申出も参考に、一定のニーズが予想される基礎的集計表についての検討をすべき。
6	カゴメ株式会 社 研究開発本部	疾病リスク低減につながる野菜提供事業および地域有用農産物の活用事業	求められている集計表で、因果関係や影響を明らかにする事は難しい。	本申出も参考に、一定のニーズが予想される基礎的集計表についての検討をすべき。

厚生労働省ホームページでの公表

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ひと、くらし、みらいのために

● 本文△ ● ホーム ● お問合せ窓口 ● よくある御質問 ● サイトマップ ● 点字ダウンロード ● サイト閲覧支援ツール | ● English

 **厚生労働省**
Ministry of Health, Labour and Welfare

文字サイズの変更 **標準** **大** **特大**

御意見募集やパブリックコメントはこちら

テーマ別に探す | 報道・広報 | **政策について** | 厚生労働省について | 統計情報・白書 | 所管の法令等 | 申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医療保険 > レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するホームページ

健康・医療 **レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するホームページ**

このホームページは、レセプト情報・特定健診等情報データベースを使った研究を検討している方々に、第三者提供についての概要を紹介するものです。

政策について

- 分野別の政策一覧
- 健康・医療

トピックス

2016年05月17日掲載

- 民間模擬申出の集計表の公表について を追加しました **New**5月17日

民間模擬申出の集計表の公表について **New**5月17日

民間模擬申出として一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会から集計依頼があった事案について以下のとおり公表いたします。

-  [集計表](#)[24.4KB]
-  [申出概要と抽出条件](#)[286KB]

1. 申出の概要

■ 申出者・申出機関

申出者氏名	千葉信雄
申出機関	一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会 (MT Japan.)

申出機関の特徴	
業種	医療用器械器具・医療用品製造業
協会会員	275社

■ 申出の概要

研究名称	医療機器の安定供給確保等におけるNDB集計表の利活用の検討
背景	社会医療診療行為別調査等の既存情報からでは、安定供給確保検討等に用いる精緻な情報は入手し難く、情報の精緻化が求められる。月別の患者数の動向を把握し、いわゆる季節変動を反映できるレセプト情報等データベースを活用した集計が有用と考えられる。
<p><分析手法> 全保険者の全レセプトを対象にした、以下の月別、都道府県別の患者数を算出する。 集計表①: PTAバルーンカテーテルを用いて、四肢の血管拡張術・血栓除去術を行った患者数 集計表②: 人工股関節置換術を行った患者数 集計表③: 持続緩徐式血液濾過術を行った患者数</p>	

レセプトの種類/期間	医科(入院・入院外/DPC) / 2013(平成25)年4月～2014(平成26)年3月診療分(1年分)
公表方法	厚生労働省ホームページ、当団体Webサイト、学会・研究会等での公表を予定

2. 抽出条件の概要(集計表①)

PTAバルーンカテーテルを用いて四肢の血管拡張術・血栓除去術を行った患者数

1. 対象となるレセプトの診療期間

・2013(平成25)年4月～2014(平成26)年3月診療分

2. レセプトの種類

・医科レセプト(入院、入院外)、DPCLレセプト
・全保険者の全レセプト

3. 関連する診療行為と特定器材

・四肢の血管拡張術・血栓除去術 (分類コード:K616、分類名称:四肢の血管拡張術・血栓除去術、診療行為コード 150153810)
PTAバルーンカテーテル(一般型・標準型)(特定器材コード 737320000)
PTAバルーンカテーテル(一般型・特殊型)(特定器材コード 737330000)

4. 集計方法

・PTAバルーンカテーテル(特定器材コード 737320000 または 737330000) が使用された四肢の血管拡張術・血栓除去術(診療 行為コード150153810)の患者の人数を患者ID(ハッシュ値1と2)を元に月別・都道府県別に集計した。
・レセプトが月を跨いで存在する場合は、始めの月にカウントした。

5. 集計表イメージ

患者数推計	4月	5月	...	3月
PTAバルーンカテーテルを使用した四肢の血管拡張術・血栓除去術を1回以上実施した患者数				

6. 集計結果

・集計表①参照のこと。

集計表1 PTA/バルーンカテーテルを用いて四肢の血管拡張術・血栓除去術を行った患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	191	227	234	263	206	208	224	213	220	193	206	228
青森県	43	41	38	34	33	34	37	26	36	39	28	33
岩手県	14	14	19	18	13	16	15	-	12	13	13	17
宮城県	53	50	51	50	47	46	52	51	63	41	46	54
秋田県	18	17	21	18	16	16	19	20	21	20	15	29
山形県	32	35	37	35	28	28	22	29	35	28	30	31
福島県	30	33	37	37	39	41	44	46	50	42	50	51
茨城県	31	22	33	23	24	22	32	27	30	33	36	24
栃木県	26	34	30	22	26	21	19	15	22	24	22	21
群馬県	56	52	45	44	57	40	54	68	55	44	59	68
埼玉県	125	122	96	121	116	108	123	100	116	108	128	119
千葉県	139	126	112	114	103	116	126	131	140	109	116	124
東京都	215	185	204	192	200	178	197	203	185	159	203	203
神奈川県	268	255	279	251	238	233	248	269	254	255	295	299
新潟県	30	27	37	39	32	33	30	40	41	37	33	41
富山県	23	26	24	23	26	23	31	12	16	14	26	21
石川県	38	55	41	51	41	47	54	43	41	45	44	36
福井県	22	20	33	23	20	14	30	17	13	26	33	19
山梨県	13	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	10
長野県	43	54	41	38	45	33	27	37	43	41	46	41
岐阜県	52	53	59	56	60	29	32	54	50	55	61	52
静岡県	53	80	95	97	84	65	71	72	77	76	86	83
愛知県	124	122	125	128	115	111	121	136	134	133	130	154
三重県	28	40	29	40	31	32	37	36	36	36	41	39
滋賀県	67	59	71	60	42	60	62	52	38	48	62	65
京都府	110	125	120	134	111	139	120	112	110	139	147	148
大阪府	272	312	316	290	277	254	275	291	305	277	306	305
兵庫県	232	206	184	222	195	160	200	175	189	187	205	214
奈良県	43	42	44	37	29	45	41	37	32	44	41	33
和歌山県	12	23	23	17	14	13	30	22	18	16	17	13
鳥取県	25	19	20	23	23	16	25	17	13	11	10	13
島根県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	11	-	-
岡山県	52	52	53	53	44	34	44	37	50	40	47	56
広島県	85	57	59	62	60	46	70	68	63	74	63	71
山口県	35	36	33	35	36	27	20	28	32	27	37	35
徳島県	19	18	20	17	10	13	13	20	16	18	13	13
香川県	26	20	26	28	27	23	24	33	18	24	28	29
愛媛県	45	23	31	30	25	30	34	22	28	24	28	27
高知県	35	46	44	40	30	37	33	43	45	34	29	34
福岡県	150	137	158	159	138	129	162	164	188	144	151	177
佐賀県	-	-	-	-	-	10	-	14	-	-	-	-
長崎県	25	28	40	37	25	20	26	30	23	30	15	25
熊本県	41	46	40	33	35	26	40	46	51	49	36	48
大分県	22	19	35	24	28	19	23	23	20	19	24	16
宮崎県	37	39	34	40	32	37	34	40	42	30	42	30
鹿児島県	42	48	39	31	39	39	28	48	37	44	44	48
沖縄県	26	24	27	27	25	28	33	26	18	26	29	41

2. 抽出条件の概要(集計表②)

人工股関節置換術を行った患者数

1. 対象となるレセプトの診療期間

- ・2013(平成25)年4月～2014(平成26)年3月診療分

2. レセプトの種類

- ・医科レセプト(入院)、DPCレセプト
- ・全保険者の全レセプト

3. 関連する診療行為

- ・人工関節置換術(股)(分類コード:K082、分類名称:人工関節置換術、診療行為コード:150050410)
- ・人工関節再置換術(股)(分類コード:K082-3、分類名称:人工関節再置換術、診療行為コード:150256010)

4. 集計方法

- ・人工関節置換術(股)(診療行為コード:150050410)または人工関節再置換術(股)(診療行為コード:150256010)を1回以上請求した患者の人数を患者ID(ハッシュ値1と2)を元に月別・都道府県別に集計した。
- ・レセプトが月を跨いで存在する場合は、始めの月にカウントした。

5. 集計表イメージ

患者数推計	4月	5月	...	3月
人工関節置換術(股)を1回以上実施した患者数				
人工関節再置換術(股)を1回以上実施した患者数				

6. 集計結果

- ・集計表②参照のこと。

集計表2 人工股関節置換術を行った患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	259	273	278	271	258	244	304	253	185	248	208	260
青森県	31	34	37	61	39	37	48	35	33	51	46	44
岩手県	26	22	30	32	20	25	37	28	26	32	25	20
宮城県	72	81	78	88	62	57	78	69	59	56	64	73
秋田県	37	29	34	33	16	30	41	29	33	27	26	27
山形県	47	46	40	53	36	48	60	52	50	50	41	37
福島県	62	57	69	62	52	62	67	86	60	65	67	76
茨城県	80	75	79	79	76	77	102	67	78	73	69	84
栃木県	58	52	61	69	55	67	67	50	37	46	43	50
群馬県	46	44	47	64	55	54	59	49	40	42	52	53
埼玉県	167	168	177	166	146	138	173	148	118	136	140	149
千葉県	223	180	177	228	186	188	203	173	149	184	185	203
東京都	393	373	428	470	444	349	442	405	346	379	403	451
神奈川県	297	285	280	293	285	269	339	259	219	275	263	301
新潟県	79	73	75	82	66	76	74	53	69	83	58	64
富山県	46	49	37	51	40	42	42	44	36	47	40	32
石川県	41	45	49	52	41	54	41	48	37	49	36	43
福井県	26	26	25	29	29	27	32	30	20	19	26	23
山梨県	24	20	20	29	23	26	26	22	21	25	20	22
長野県	82	73	66	86	63	76	74	83	71	95	69	82
岐阜県	51	36	54	55	38	51	49	44	39	40	51	48
静岡県	102	91	94	131	92	102	113	99	76	100	90	96
愛知県	176	192	160	171	184	169	183	171	164	174	159	187
三重県	34	40	33	39	33	40	54	46	42	46	40	42
滋賀県	35	51	40	45	29	34	47	40	16	38	31	27
京都府	90	83	80	115	87	85	96	94	66	97	84	97
大阪府	391	336	372	401	380	339	376	336	309	347	344	346
兵庫県	186	195	172	207	174	146	213	208	159	177	159	169
奈良県	77	51	67	72	55	56	62	74	53	51	63	62
和歌山県	44	46	36	44	33	37	34	37	31	44	34	40
鳥取県	21	25	19	24	12	20	21	16	13	17	18	-
島根県	19	22	22	17	20	21	18	22	20	25	19	20
岡山県	69	72	79	99	80	83	88	85	86	75	82	79
広島県	97	94	104	101	74	100	107	82	79	84	84	95
山口県	38	47	42	48	39	37	59	38	29	38	43	43
徳島県	29	33	32	30	29	31	21	32	21	19	25	29
香川県	33	36	44	35	39	27	44	38	31	46	34	41
愛媛県	51	45	50	47	65	48	46	50	45	49	48	50
高知県	32	40	28	44	35	34	32	27	21	32	30	38
福岡県	183	176	179	212	181	161	218	172	145	168	190	194
佐賀県	59	53	60	52	46	54	58	52	36	49	43	46
長崎県	47	55	49	49	40	42	53	49	31	38	49	47
熊本県	57	81	64	94	59	64	78	53	35	51	63	79
大分県	37	39	40	40	26	33	48	36	25	39	34	40
宮崎県	30	39	38	42	37	31	36	38	24	32	28	42
鹿児島県	61	58	65	77	66	47	61	60	37	45	46	56
沖縄県	34	34	35	35	27	35	44	28	26	28	31	28

2. 本件の抽出条件の概要(集計表③)

持続緩徐式血液濾過術を行った患者数

1. 対象となるレセプトの診療期間

・2013(平成25)年4月～2014(平成26)年3月診療分

2. レセプトの種類

・医科レセプト入院、入院外)、DPCLレセプト
・全保険者の全レセプト

3. 関連する診療行為

・持続緩徐式血液濾過 (分類コード: J038-2、分類名称: 持続緩徐式血液濾過、診療行為コード: 140029850)

4. 集計方法

・持続緩徐式血液濾過(診療行為コード 140029850)を1回以上請求した患者の人数を患者ID(ハッシュ値1と2)を元に月別・都道府県別に集計した。
・レセプトが月を跨いで存在する場合は、始めの月にカウントした。

5. 集計表イメージ

患者数推計	4月	5月	...	3月
持続緩徐式血液濾過を1回以上実施した患者数				

6. 集計結果

・集計表③参照のこと。

集計表3 持続緩徐式血液濾過術を行った患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	148	91	115	101	120	88	107	110	121	120	95	118
青森県	41	38	43	35	38	33	36	33	42	48	27	36
岩手県	19	-	11	18	12	15	19	16	10	26	14	-
宮城県	47	30	41	30	26	39	32	28	35	28	26	31
秋田県	19	11	16	16	16	-	11	20	18	14	-	13
山形県	17	13	13	10	14	-	14	14	13	-	14	13
福島県	47	26	23	28	39	31	41	36	36	40	46	40
茨城県	33	33	29	38	14	37	22	30	36	30	35	36
栃木県	31	20	18	11	23	23	23	19	25	21	34	29
群馬県	31	29	27	27	22	32	29	40	21	20	28	31
埼玉県	94	78	76	70	86	73	82	107	90	90	87	88
千葉県	107	86	90	94	99	73	94	89	117	120	112	106
東京都	217	194	159	173	170	190	179	203	201	206	197	214
神奈川県	146	133	135	115	116	106	121	116	114	147	115	145
新潟県	23	22	15	14	14	23	16	11	13	18	22	21
富山県	11	14	13	11	14	13	12	14	-	14	14	14
石川県	29	26	28	22	23	17	31	22	21	28	22	19
福井県	12	12	20	21	13	15	18	15	18	12	19	19
山梨県	14	-	11	-	-	-	-	-	14	16	-	-
長野県	34	31	34	19	31	26	26	30	33	32	35	30
岐阜県	16	23	26	21	25	14	24	21	16	29	23	18
静岡県	55	57	43	42	49	60	33	64	53	54	56	65
愛知県	96	76	74	89	81	68	82	101	88	89	67	76
三重県	49	24	19	21	23	18	23	26	29	28	30	26
滋賀県	43	39	31	34	27	22	42	48	36	43	40	41
京都府	111	62	57	69	70	62	70	70	87	79	72	82
大阪府	223	179	151	172	167	141	161	177	180	186	163	181
兵庫県	138	108	84	91	107	100	114	103	105	131	97	102
奈良県	25	31	21	39	19	26	39	30	34	32	30	38
和歌山県	26	18	14	15	18	19	20	13	20	29	13	20
鳥取県	12	-	-	-	11	-	10	12	10	10	-	-
島根県	21	27	14	20	15	13	-	16	18	18	12	18
岡山県	48	38	43	28	36	34	38	48	46	44	49	35
広島県	70	53	50	53	42	43	54	50	43	58	44	62
山口県	34	23	33	31	19	25	28	31	26	24	21	42
徳島県	10	10	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
香川県	18	12	14	-	14	18	15	13	-	24	18	10
愛媛県	26	26	22	19	21	25	17	20	24	21	23	20
高知県	17	15	15	11	14	12	14	16	26	20	19	21
福岡県	107	90	79	81	70	83	85	90	99	94	78	100
佐賀県	13	11	-	15	-	-	16	14	20	16	15	21
長崎県	22	18	16	22	23	23	18	14	22	28	12	25
熊本県	27	29	21	20	19	19	14	22	23	26	15	26
大分県	40	28	20	24	40	24	25	26	39	38	22	33
宮崎県	29	22	22	22	12	14	12	20	23	36	22	16
鹿児島県	60	46	30	57	37	41	55	45	43	36	41	40
沖縄県	50	28	37	52	42	39	42	36	45	45	43	35

日本製薬工業協会：集計表のイメージ

※数値はすべてダミーデータ

出力順	薬剤グループID	診療年月	性別	年齢区分名	当月全患者数	延べ投与日数	延べ使用量	1日平均使用量	1日最大使用量	1日最小使用量	1日使用量区分01	1日使用量区分02	...	1日使用量区分10超	1処方箋当日数8日以内	...	1処方箋当日数63日以上	入院	外来	在宅	特定薬剤（ハイリスク薬）管理指導	肝疾患あり	肝不全・肝硬変あり	...	心疾患あり	肝検査あり	...	心検査あり	併用類薬数0	併用類薬数1	...	併用類薬数5以上
1	9017	42706	1	全年齢	2835	57029	229794	4.37	15	0.5	585	721		267	736		37	831	2004	800	-	880	476		963	663		1093	-	532		286
2	9017	42706	1	0-4歳	130	2714	9090	3.47	10	0.5	24	65	-		29	-	46	84	38	16	43	21		44	30		55	32	-		12	
3	9017	42706	1	5-9歳	168	3702	16527	4	15	1	49	-		59	38	-	57	111	49	24	58	31		63	44		71	11	17		42	
4	9017	42706	1	10-14歳	140	3094	9209	4.36	15	0.5	22	41		26	34	-	40	100	32	18	41	19		42	35		52	-	39		27	
5	9017	42706	1	15-19歳	139	2803	14322	5.33	15	1	92	11		92	32	-	34	105	39	25	42	17		40	31		44	22	21		25	
6	9017	42706	1	20-24歳	155	3170	7835	4.5	15	0.5	77	116	-		35	-	42	113	37	20	40	24		53	29		56	32	22		40	
7	9017	42706	1	25-29歳	163	3376	14400	4.85	15	0.5	-	-			36	-	37	126	41	28	43	27		45	39		55	55	29		36	
8	9017	42706	1	30-34歳	142	2793	8020	4.18	15	0.5	49	71		21	46	-	43	99	40	19	39	21		47	33		54	49	20		37	
9	9017	42706	1	35-39歳	154	3140	8662	3.45	15	0.5	11	33		33	46	-	37	117	34	26	45	22		44	32		54	27	50		26	
10	9017	42706	1	40-44歳	144	2767	11186	3.43	10	0.5	48	10		37	38	-	33	111	38	20	46	25		45	37		51	44	33		16	
11	9017	42706	1	45-49歳	135	2561	10688	4.38	10	1	38	-		14	40	-	31	104	43	20	39	25		47	29		50	21	25		-	
12	9017	42706	1	50-54歳	134	2752	14291	5.12	15	1	47	31	-		31	-	39	95	35	19	46	23		48	28		52	44	-		-	
13	9017	42706	1	55-59歳	128	2628	15647	6.65	15	1	-	24		34	26	-	30	98	35	25	32	16		39	21		43	30	18		28	
14	9017	42706	1	60-64歳	145	2864	13411	4.73	15	0.5	11	19		11	46	-	51	94	42	26	51	24		51	36		60	24	31		31	
15	9017	42706	1	65-69歳	163	3155	9105	4.06	15	1	32	52		39	50	-	44	119	48	28	44	22		56	38		59	22	16		41	
16	9017	42706	1	70-74歳	165	3072	14178	5.35	15	1	50	50		57	51	-	60	105	52	15	58	34		70	39		73	29	43		34	
17	9017	42706	1	75-79歳	169	3299	12569	4.17	15	0.5	52	-		36	46	-	59	110	50	24	63	43		61	45		78	37	48		17	
18	9017	42706	1	80-84歳	125	2453	12320	4.36	15	1	55	-			32	-	40	85	33	15	36	22		43	30		48	27	38		42	
19	9017	42706	1	85-89歳	128	2540	8942	3.22	10	0.5	35	48		13	30	-	42	86	46	29	45	23		46	39		51	12	18		35	
20	9017	42706	1	90-94歳	117	2344	9459	4.35	15	1	-	48		29	28	-	41	76	36	18	40	23		47	28		50	31	12		20	
21	9017	42706	1	95-99歳	91	1802	6478	4.33	15	0.5	27	40		36	22	-	25	66	32	-	29	14		32	20		37	11	20		15	
22	9017	42706	1	100歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-		-	-	-		-	
23	9017	42706	1	不明	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-		-	-	-		-	

選定された薬剤について、集計表を作成・公開する

參考資料

民間提供に関する議論の経緯

「レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ」設置に至るまで

- 平成25年6月14日閣議決定の「**日本再興戦略**」、平成25年8月6日の「**社会保障制度改革国民会議 報告書**」等において、レセプト情報等の利活用促進について様々な提言がなされた。
 - 【**日本再興戦略 抜粋**】医療の質の向上や研究基盤の強化を進めるため、国が保有するレセプト等データの利活用を促進する。このため、民間企業も、行おうとする研究が国の行政機関から費用の助成を受けているものである場合には、レセプト等データの提供を申し出ることができることを含め、データ提供の申出者の範囲について周知徹底する。
 - 【**社会保障制度改革国民会議 報告書 抜粋**】国が保有するレセプト等データの利活用の促進も不可欠である。具体的には、個人情報保護にも配慮しつつ、現状は利用者の範囲や使用目的が限定されている使用条件を緩和し、幅広い主体による適時の利活用を促すため、データ提供の円滑化に資する対策を講ずべきである。
- こうした議論を踏まえ、有識者会議においてレセプト情報等の利活用促進について議論が行われ、平成26年3月20日の「**レセプト情報・特定健診等情報データの利活用の促進に係る中間とりまとめ**」において具体的な報告がなされるとともに、有識者会議において、民間提供に関する具体的な議論が継続して行われた。
- その結果、まず集計表情報について、試行的に提供を行うとともに、試行的な提供における集計方法等については、有識者会議にワーキンググループを設置し、専門的な検討を行うこととなった。

「レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ」での議論

- 上述の議論を踏まえ、主に試行的な集計表の提供を通じて課題を洗い出し、レセプト情報等の民間提供に関する方向性についても検討を行うことを目的に、「**レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ**」が設置された。
- ワーキンググループでの議論をまとめた「**レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ中間報告**」（平成27年3月17日）では、6つの個別民間模擬申出を検討した結果、比較的抽象性の高いニーズが傾向としてみられることが把握された。こうしたニーズに応えるには、**汎用性が高く様々なニーズに一定程度応えうる基礎的な集計表を作成し、公表していくことがむしろ適当である**、という提言がなされた。
- 一方で、民間模擬申出の中には、非常に具体的な利用目的を掲げているものも見られた。こうした申出に対しては、NDBシステムの従来の第三者提供や本来目的利用への影響が及ばないよう、システム負荷や作業負荷等を軽減する方策も合わせて検討しながら、民間提供の枠組みを構築してはどうか、とも提言された。

「レセプト情報等の提供に関するワーキンググループ」構成員

加藤 源太(かとう げんた)	京都大学医学部附属病院診療報酬センター 准教授
小出 大介(こいで だいすけ)	東京大学大学院医学研究科 臨床疫学研究システム学講座 特任准教授
新保 史生(しんぼ ふみお)	慶応義塾大学総合政策学部 教授
◎頭金 正博(とうきん まさひろ)	名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分野 教授
松田 晋哉(まつだ しんや)	産業医科大学医学部公衆衛生学 教授
三浦 克之(みうら かつゆき)	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生部門 教授
満武 巨裕(みつたけ なおひろ)	医療経済研究機構 副部長

◎座長